

令和元年度が始まりました



豊能町長

塙川 恒敏

町議会の3月定例会議と4月会議において、平成31年度（令和元年度）予算をお認めいただき、ようやく1月から、令和と共に新しい豊能町がスタートしました。

町民の皆様には、「ご挨拶が遅れましたこと、お詫び申し上げます。

この日の日に執行されました町長選挙におきましては、町民の皆様の温かい「ご支援」と「支持」を賜り、町長の重責を担わせていただくことになりました。

この原稿は、5月に執筆しておりますが、就任以来2ヶ月間で、2回の議会を経て、改めて身の引き締まる思いを新たにしております。就任後わずか10日目に町議会の全員協議会が開かれ、同日、当初予算を含む各議案を議員各位にお示ししたところです。

それから、3月27日まで3月定例会議が開かれ、議員各位の賛同を得て、当初予算が成立しましたが、就任後まもないことから3月は骨格予算とさせていただき、改めて、4月会議において、本格予算を提案したところ、一部の予算については修正はあったものも、ほぼ提案どおりお認めいただき、4月26日に可決されました。これをもって、冒頭のとおり、令和の新元号とともに、豊能町の新たな町政をスタートしたことになります。

さて、本町は、平成7年の約2万7千人をピー

クに、平成31年4月には、10、117の人と少子高齢化による人口減少と人口流出によって、自主財源が年々減少し続けています。

一方で、住宅地開発によって建設された公共インフラ（道路・上下水道・公共施設など）は老朽化が進み、その維持管理費や更新による大幅な費用増加が見込まれています。このままで推移すると、財政調整基金などの基金取り崩しによる財政運営が必要となります。

基金の取り崩しに頼ることのない健全な財政運営を行うとともに、行政サービスの維持が可能な都市環境を整える必要に迫られています。

私の3つの基本政策は、所信表明で述べさせていただきましたが、追記させていただきます。

1) 教育改革

子どもの成長に合わせた「学び」と「育ち」の連続性を大切にした「教育の質」を高める小中一貫教育の推進については、新たな教育長を迎える準備づくりを行います。

ハード面では、町全体で、1小1中の再配置計画に伴う基本構想・基本計画の予算執行を止め、「契約解除」を行いました。既存施設の有効活用を基本に、将来の負担を抑える計画に改めてまいります。

東・西 それぞれに「小中一貫校」を設け、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支える仕組みを、教育委員会と町長部局が連繋して構築してまいります。

学校・家庭と地域（地域学校や協働活動）が連繋した地域の教育力の向上と充実は、地域課題の解決等に向けた連繋・協働につながり、持続可能な地域社会の源となることから、オープンな議論を徹底してまいります。

2) 住みやすい「まちづくり」と活性化
・子育て世代の支援の充実、高齢者に対応した

行政サービス、住環境の整備に取り組みます。人口減少は、地域経済にも多大な影響を及ぼすため、農業・観光・商業といった産業の振興と活性化を図り、雇用の創出、担い手不足解消に努めます。

定住人口、交流人口、関係人口、それぞれを増加させるため、PRと交流策を開拓し、まちづくりへの住民の参加・協働による協議会等での開かれた施策検討を行います。

3) 行財政改革

持続可能な財政運営を行うため、新副町長を迎えて、全庁挙げて「総合まちづくりビジョン」の策定に取り組み、さらに、個別施設計画も策定し、優先順位付けと執行年度の平準化を図ってまいります。

豊能町行財政改革プラン（2019）を策定し、「組織・機構の改革」「行政経営の改革」「財政運営の改革」「施設運営の改革」を進めてまいります。

そのためには、大阪府（豊中市、池田市、箕面市、能勢町）だけでなく、兵庫県（川西市、猪名川町）、京都府（亀岡市）などとの広域行政連繋を活かした改革に努めてまいります。

4) ダイオキシン問題

ダイオキシン類廃棄物問題の早期解決は、豊能・能勢町民の悲願であり、その安全で安価な最終処分に向けて、国・大阪府の協力を得ながら取り組み、信頼を取り戻してまいります。

様々な課題が山積していますが、私の任期1年目を踏み出したいと存じます。町民の皆さんにおかれましては、「ご理解と「ご支援」を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

令和元年度4月補正予算（肉付け予算）の概要

本年度当初予算は、3月に町長選挙が行われたため、必要最低限の経費を計上した骨格予算として編成しました。この骨格予算をベースとして、4月補正予算（肉付け予算）では臨時の経費や新規事業などの補正予算編成を行いました。

教育の充実

小学校施設整備事業	学校施設の適正管理を図るため、東ときわ台小学校グラウンド整備工事及び東能勢小学校屋上防水修繕工事を行います。
プログラミング教育推進事業	令和2年度以降、小学校で必修化されるプログラミング教育の推進のため、各小学校で児童生徒が体験的に学ぶことができる教材や英語教育の一助としてスカイプ機器などを購入します。
デジタル教材購入事業	令和2・3年度の新学習指導要領の内容を踏まえて、授業内容の充実、さらなる工夫改善を目指して、各学校にデジタル教材を購入します。（5年総額390万円）

住みやすいまちづくりと活性化

シートス空調設備改修事業	施設の適切な維持管理を行うため、スポーツセンターシートスの空調機器を更新します。
消防分団車両更新事業	町消防団野間口分団の消防ポンプ車の更新を行います。
豊寿荘浴室改修事業	豊寿荘の浴室を多目的室として利用できるスペースに改修します。
国民健康保険診療所機器等整備更新事業	豊能町国民健康保険診療所の歯科用レントゲンなどの更新を行います。
永寿荘トイレ改修事業	高齢者が利用しやすいうよう、永寿荘のトイレを和式から洋式に改修します。
総合まちづくり計画策定事業	本町の計画的なまちづくりのため、令和4年度～令和13年度を対象として、総合まちづくり計画を策定します。（3年総額1,000万円）
コンビニ収納導入事業	町税等（町民税普通徴収・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険料）の納付の利便性の向上のため、コンビニエンスストア収納の導入を図ります。

当初予算と補正予算の総額

(単位：千円)

会計名	当初予算（骨格予算）	4月補正予算（肉付け予算）	合計
一般会計	6,632,000	293,585	6,925,585
特別会計	国民健康保険事業勘定	3,044,686	5,562
	国民健康保険診療所施設勘定	65,273	5,632
	後期高齢者医療	510,512	0
	介護保険事業勘定	2,307,549	4,715
	下水道事業	461,471	14,739
	小計	6,389,491	30,648
合計	13,021,491	324,233	13,345,724